

## 専務理事訪問記・・・ 第2回 インドネシア編

訪問先 PT.MU Research & Consulting Indonesia(MURCI)

訪問日 2013.04.17

MURCI社は三菱東京フィナンシャル・グループの総合シンクタンクである三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社（当協会の会員）のインドネシア現地法人である。2001年にPT.SRIC Indonesiaとして設立され、2006年1月から現在の社名で活動を展開している。今回、日本小売業協会主催のインドネシア流通視察会に同行したのを機に、同社の田中秀和社長にお会いして、発展著しいインドネシア経済やジャカルタの小売の様子をうかがった。（注：PT.とは会社組織を示すインドネシア語である）

《岡部》 田中さん。お久しぶりです。田中さんとは1988年からの私のジャカルタ駐在時代からのお付き合いですね。

《田中》 岡部さんもお元気そうですね。私は、岡部さんのジャカルタ駐在の少し前からJICA(国際協力機構)の職務で、インドネシア工業省、投資調整庁(BKPM)などで国際協力事業にかかわり、その後、当社の日本法人などでインドネシアの調査研究業務等に従事し、今に至っています。



<ジャカルタ 朝の通勤ラッシュ>

### ●好調なインドネシア経済の課題

《岡部》 さて、インドネシア経済はいわゆるリーマン・ショック以降も世界の景気変動の中にあつて、大きな不況を経験することもなく安定的に成長し、中進国の仲間入りを目指していますね。

《田中》 そうです。インドネシア経済は、2008年のリーマン・ショック、および11年の欧州経済財政危機に対する耐性が評価され、12年1月のムーディーズによる国の信用格付けが「投資適格」に引き上げられました。2013年も6%台の成長が続けられるとの見通しです。

《岡部》 日本企業の直接投資や事務所開設がジャカルタ中心に再び盛り上がっていますね。ジャカルタ・ジャパン・クラブの法人会員数は、今年の3月末で初の500社台、つまり504社とかうかがっています。マクロ経済の視点から見るとインドネシアの課題は何でしょうか。

《田中》 インドネシアは、いまだ石油・石炭・LNG・パームオイルなどの天然資源の輸出が大きなウエイトを占めていますが、2011年の第四半期から資源価格の低迷等で輸出額が伸びません。逆に国内消費の活発化や外国投資の増加で資本財の輸入が増えています。結果、貿易収支は赤字が続いています。今後、資源輸出先の景気動向により貿易赤字が解消されるかどうかは経済運営の課題です。

## ●中進国への仲間入りを目指す

《岡部》 外国資本が投資を活発化させ、外資の海外輸出も増えてきていますが、政策面で外資への規制が強化されているという動きはありますか？

《田中》 政策的には、資源ナショナリズムが強まっていますね。石炭の国内消費の一部義務付けや主要鉱物資源の原料輸出を禁止して加工品の輸出を義務付けるなどの規制強化がみられます。また、外国人の雇用規制の強化、銀行の支店の現地法人化義務付けの動きなど外国投資への規制強化の動きも見逃せません。

《岡部》 国内の産業資本の育成やインフラの整備など、中進国に向かうインドネシアに課題は多いですね。

《田中》 国民の所得が向上してきますと、貧富の格差が拡大します。低所得者の底上げが大きな課題です。最低賃金の引き上げや雇用問題で労使紛争が見られますが、インドネシアが今後、中進国へ向かう中で避けて通れない道でしょう。また、自動車や機械製造などのものづくりは日系企業の技術力・生産力に期待しています。一方で華人系インドネシア人が主導権を握る不動産や流通業への投資は都市部を中心に活発です。シンガポールからの外国投資が多いのもその関係です。

## ●日本の小売サービスに学ぶところが多い

《岡部》 一人当たりGDPが3500ドルを超えて、ジャカルタなどでは富裕層も増えていきますね。結果、小売やサービス業は拡大していくと思います。

《田中》 おっしゃるとおり、中間所得層は確実に増加していますよ。特にジャカルタでは。しかし、小売・流通・サービス分野は外資への参入規制は依然厳しいです。また、最低投資額の規制もありますから、中小企業は参入しづらいですね。逆に、日本の大手小売資本への期待はありますね。したがって、日本の小売・サービス業が持っているあらゆるノウハウは、これからのインドネシアの国内市場の発展に欠かせないものです。インドネシア側は、日本的サービスの導入に相当期待しています。

《岡部》 コンビニ第二位のアルファマートさんで話をうかがいましたが、同グループは、近年、売り上げも店舗数も伸びて急成長していますね。商業の構造もパサール（庶民の買い物市場）などの伝統的な小売のシェアが減り、大型スーパーやコンビニのシェアが伸びています。



＜アルファマートのレジ・接客風景＞

《田中》 コンビニは、日本のローソンなどの参入も注目されていますね。ジャカルタでは、伝統的なパサールでものを買う庶民と、新しい業態のコンビニでものを買う庶民の消費行動が並立してきています。コンビニがいつ、パサールの代替機能を完全に果たすようになるのか、注目しています。

《岡部》 日本の小売業に限らず日本の大手も中小企業も業種業態を問わずに、インドネシアの国内市場の拡大に注目しています。田中社長さんのところにいろいろと調査依頼が来るでしょうね。

《田中》 私と3名の日本人スタッフを中心にあらゆる調査依頼にお応えしています。中小企業の投資の鍵を握る現地パートナーの信用調査などで当社は、実績もあり定評があります。

詳しくはホームページ <http://www.murci.co.jp> にアクセスしてください。

《岡部》 どうもありがとうございました。ますますのご活躍を祈念します。

（文責 岡部）